



ジョブ・カードを使って
社員も会社も **もっと** 元気に！

**勤続3年以内の介護職員の定着促進にジョブ・カード活用講座を実施
これまでの職場体験を振り返り、介護職員としてありたい姿を再確認！**



【団体名】社会福祉法人 山形県社会福祉協議会
山形県福祉人材センター
【設立】1952年5月17日
【所在地】山形県山形市
【従業員】45名
全国社会福祉協議会や市町村社協をはじめ、各関係機関・団体とのネットワークにより、地域共生社会の実現に向けた全県的な福祉活動の推進と、調査研究、広報活動、提言活動、人材確保・育成などを通じて、地域社会づくりに取り組んでいます。

取り組み目的：
「できること」「強み」「ありたい姿」を見つめ直し、モチベーションアップをはかる

Q.ジョブ・カードを導入しようと思ったきっかけは何ですか？

東北広域ジョブ・カードセンターより、職員研修の提案を受けました。
本会では、例年福祉人材センター求人登録事業所で勤続3年以内の介護職員対象とした「介護職員学習交流会」を開催しています。
介護学習交流会でジョブ・カードを作成することで、これまでの職場体験の振り返りや介護職員としての将来のビジョンが明確になり、介護職員のモチベーションアップにつながると考えました。こうした取組は、より良いサービスの提供につなげるという趣旨に添うと感じたため、今回の講座をお願いしました。

取り組み内容：
他者理解のワークを取り入れて、自己理解がさらに深まるよう講座プログラムを工夫

Q.ジョブ・カードをどのように活用しましたか？

常日頃から自分のことよりご利用者を優先して働いている介護職員に、本交流会を通して、参加者のリフレッシュにつながる内容にしてほしいと要望しました。
学習交流会では、自己理解・他者理解が深められるグループワークを行い、その後、補助シートに価値観、強み・弱み、今後のビジョンを整理し、ジョブ・カードを作成しました。作成後には記入した内容の発表と気づいたこと等を発表し、今の思いやなりたいたい自分を共有しました。東北広域ジョブ・カードセンターの講師は、こまめにグループを巡回し、気づきを促すような質問をしながらグループワークが潤滑に進むよう配慮していました。

導入成果：
満足度は100%(大変有意義、有意義の回答) 他者理解から自身を見つめ直す機会へ

Q.導入前後を比較して、あなた自身や社員・組織にどんな効果がありましたか？

参加者アンケートの感想には、
「改めて、過去・現在を振り返り、未来のステップにつなげることができた」
「弱みの克服など、改めて見直しになった」
「一度介護職から離れましたが、戻ってきて良かったと思います」
など、本交流会を通して、自身を見つめ直す機会となったようです。また、グループワークを主としたため、参加者同士の刺激や学びも多くありました。参加者が楽しそうに受講している姿を見て、本会職員も講座を受けたいと感じました。今後検討できればと思います。